

ENGINE

意外にもゴテゴテになっていないエンジンルーム。ドイツ車はやはり元の作りがいろいろののだろうか。



この見た目でもフル内装！
デートもこなせる仕様の車
だがロールケージはカノ
ジョには不評だとか…



妥協を知らないヤル気仕様

タイヤは新しく導入されたスタンサーを使用し、タイヤハウスのギリギリに収まるトレッドに揃えられている。そこに収まるホイールはYayo chan制作のBBBがあらわされる。オーナーは首都高のPAでリムに缶コーヒータンクを乗せて写真を撮るのがマイブームだと語る。エンジンはDIカスタム内でのチューニングに留めてあり、ハンドリングエディターは使っていないそう。ドリフトはもちろん、首都高に持ち込めばS54 B32がその咆哮を高くに響かせるという。尚、「ここまでやっているがしっかりと車検対応にまとめるため排気もしっかりと対策をしている。いまだに完成はしていないというこの車でオーナーは一体何を指すのか。どこに向かうのか。この車の完成した姿でまた現れるのを願うほかない。



10月1日、突如として追加されたその車はSentinel MS2である。某ドイツ製車両に瓜二つのこの車はその原型をとどめておらず、至る所に入念に計算された機能美ともいえる外装パーツに身を包む。オーナーは実装当日、ノーマル状態だった車体をここまで仕上げたのにゲーム内通貨を50,000ドル程つぎ込んだという。オーナーはこの車を「安心して攻められる魅せる車」というコンセプトで作成したという。この唯一無二の仕様は大きく貼りだしたフェンダーに空力を意識したエアロパーツ。そして大胆にもリアバンパーを取り外したバンパーかつとスタイルになっている。以外にも外装は目を引くエアロパーツで揃えてあるが、意外にもフル内装になっている。



EXTERIOR

強力なダウンフォースを生むスポイラーはドライカーボン製。リアバンパーを外すことで空力を強化しているが重量バランスの悪化がネック。

